

【コロナ騒ぎで】

☆ 大事な事を見過ごしていませんか

ー 4・28 沖縄屈辱の日を忘れない ー

◆ いま、日本も世界も新型コロナウイルス感染拡大で騒然としています。「緊急事態宣言」が出てから、いつそうこの事に関心が集中しています。

◆ しかし、その事に目を奪われて、極めて重大な事なのに、見過ごされてしまいうような問題があります。その一つが沖縄問題です。

今年も「4・28 沖縄屈辱の日」がやってくる

◆ 日本の敗戦から七年目の一九五二年四月二十八日、サンフランシスコ講和条約によって、連合国占領下にあった日本は独立を果たしました。

◆ しかしその時、沖縄や奄美はその対象から除外され、アメリカの占領下に置き去りにされました。沖縄の人々は、この日を境に日本住民ではなく「琉球住民」とされました。沖縄差別の始まりです。沖縄の人々はこの日を「沖縄屈辱の日」として、今も決して忘れていません。

昭和天皇のメッセージ

◆ 屈辱の日の背後には、一九四七年、昭和天皇の米国政府へのメッセージがあります。天皇は寺崎英成御用係を通じて米国に対して「沖縄を含む琉球諸島を二五年から五〇年、アメリカが占領し続けてほしい」と伝えていたのです。

【この事実は一九七九年、米国の公文書公開によって明らかにされました。岩波「世界」一九七九年四月号】

◆ その後、昭和天皇は遂に一度も沖縄を訪れることはありませんでした。沖縄の住民は沖縄が本土復帰する一九七二年まで、選挙権もなく、国会議員も送れず、アメリカの支配の元で苦難に耐えねばなりませんでした。

沖縄の苦難、犠牲は今も続いている

◆ そして沖縄の本土復帰後、政府は本土にある米軍基地を次々と沖縄に移しはじめ、今や国土面積僅か0.6%の沖縄に米軍基地の70%が集中し、さらに辺野古に新しい基地が建設されつつあります。

◆ 宮古島も基地の島となりつつあります。コロナ感染の恐れがあるという沖縄県医師会の警告と中止要請も無視してミサイル部隊が配備完了した五日、二百人が出席して式典が行われました。住民の命よりミサイル優先なのです。

◆ コロナ騒ぎに目を奪われ、沖縄の問題のみならず、原発問題、モリ・カケ問題、桜を見る会問題、憲法改正問題などを見過ごすことは統治する側にとつて好都合な状態です。バランスのとれた目配りで世の中の動きを見ようではありませんか。

二〇二〇年四月十二日（日）護憲平和行進（通算638回目）
★ 浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★ 月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



日本国憲法前文より

深く自覚する恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を
らの安全と生存を保持し、永久に決意した。われらは、公正と信義に信頼して、われ
従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとし、平和を維持し、専制と隷
名譽ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と
欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。
われらは、免れづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはなら
ない。私たちは、主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務である
とは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務である
と信ずる。日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成す
ることを誓ふ。